

アドミッション・ポリシー(入学受入れ方針)

茨城キリスト教大学は、別に定める学位授与方針および教育課程方針に基づき、本学の各学科に入学することを希望される方の受け入れ方針を次の通り定めます。

文 学 部

現代英語学科

現代英語学科は、別に定める教育課程方針に基づく学修を果たし、学位授与方針に掲げる諸能力をもった人を育成するために、本学科への入学者として次の事項を満たす方を選考し、受け入れます。

<建学理念>

【全ての入試】

キリスト教精神における公正性の理解に努め、今後の人生において公正であることに努めようとする意志のある人。

【総合型選抜、学校推薦型選抜など】

大学入学までに、英語に関係するボランティア活動や、留学等の異文化に関わる経験を有するなど、進んで英語を使用しようとした実践的ボランティアの萌芽を確認することができ、本学科における学修によってその深化が期待できる人。

<学力の3要素>

【全ての入試】

- ・本学科で学修するために、事前に必要となる知識・技能を、中等教育終了までの学びにおいて身につけている人。
- ・本学科で学修するために、事前に必要となる思考力・判断力・表現力を、入学までの学びや活動によって身につけている人。
- ・「ことば」「文化」「異文化間コミュニケーション」「言語教育」のいずれかに興味があり、関心のあるテーマを粘り強く追求し、継続的に努力する習慣と、他者と活発な議論を展開できるコミュニケーション力を身につけていること。英語、および英語を使用する人々の文化を偏見のない柔軟な姿勢で学び、本学科での学びを自らの興味・関心と結びつけて主体的に発展させられること。

児童教育学科

児童教育学科は、別に定める教育課程方針に基づく学修を果たし、学位授与方針に掲げる諸能力をもった人を育成するために、本学科への入学者として次の事項を満たす方を選考し、受け入れます。

<建学理念>

【全ての入試】

キリスト教精神における公正性の理解に努め、今後の人生において公正であることに努めようとする意志のある人。

【総合型選抜、学校推薦型選抜など】

大学入学までに、教育や保育に関係するボランティア活動における指導的な経験を有するなど、進んで他者に奉仕しようとした実践的ボランティアの萌芽を確認することができ、本学科における学修によって、その深化が期待できる人。

<学力の3要素>

【全ての入試】

- ・本学科で学修するために、事前に必要となる知識・技能を、中等教育終了までの学びにおいて身につけている人。
- ・本学科で学修するために、事前に必要となる思考力・判断力・表現力を、入学までの学びや活動によって身につけている人。

【総合型選抜、学校推薦型選抜など】

児童教育・保育・福祉全般の社会的諸課題解決のための学修に主体的に取り組む態度、またその態度が確認できる学習歴や活動歴等が確認できる人。特に次に掲げる項目において主体的な態度が確認できる人を求めます。

1. 子どもの成長とそこに関わる人や社会について学びたい人。
2. 小学校、特別支援学校、幼稚園、保育所、認定こども園、児童養護施設、乳児院等で働きたい人。
3. 教職、保育職に限らず、地域の中で子どもと関わる仕事に関心のある人。
4. 高等学校までの各履修科目について、芸術科目や体育を含め、その内容に高い関心を持つとともに、偏りが無く基礎的な知識を修得している人。
5. 高等学校において、とくに言語の運用能力・論理的思考力を高めるよう努力する人。

文化交流学科

文化交流学科は、別に定める教育課程方針に基づく学修を果たし、学位授与方針に掲げる諸能力をもった人を育成するために、本学科への入学者として次の事項を満たす方を選考し、受け入れます。

<建学理念>

【全ての入試】

キリスト教精神における公正性の理解に努め、今後の人生において公正であることに努めようとする意志のある人。

【総合型選抜、学校推薦型選抜など】

異文化交流や地域社会の課題解決に対して協働的に作業を進め、進んで他者に奉仕しようとした実践的ボランティアの萌芽を確認することができ、本学科における学修によってその深化が期待できる人。

<学力の3要素>

【全ての入試】

- ・本学科で学修するために、事前に必要となる知識・技能を、中等教育終了までの学びにおいて身につけている人。
- ・本学科で学修するために、事前に必要となる思考力・判断力・表現力を、入学までの学びや活動によって身につけている人。

【総合型選抜、学校推薦型選抜など】

アジア・欧米など諸地域の文化を学び、将来的に国際ボランティア、観光業、地域貢献、日本語教育などに従事し、国内外で文化交流の担い手として活躍したい人を求めます。

1. 文化交流を広く学ぶために、高等学校修了程度の基礎学力をもっていること。なかでも、歴史や地理についての十分な知識や、文章の内容を正確に読み取る読解力を身につけていること。また、英語を含む外国語の習得に励み、それを活用する意欲があること。
2. 異なる文化的背景を有する人たちとも良好なコミュニケーションを取り、協働的にして作業を進めようとする姿勢をもっていること。また、地域社会や世界の出来事に興味・関心を持ち、それらを包括的に捉えることでそこから現代社会の問題や課題を見出し、その解決に取り組もうとする姿勢をもっていること。
3. これまでの経験・実績は問わないが、日本や海外の国々の文化に対して幅広い関心を持ち、異文化交流を主体的に進めようという意欲、また、地域の問題に実践的に取り組もうとする積極性をもっていること。

生活科学部

心理福祉学科

心理福祉学科は、別に定める教育課程方針に基づく学修を果たし、学位授与方針に掲げる諸能力をもった人を育成するために、本学科への入学者として次の事項を満たす方を選考し、受け入れます。

<建学理念>

【全ての入試】

キリスト教精神における公正性の理解に努め、今後の人生において公正であることに努めようとする意志のある人。

【総合型選抜、学校推薦型選抜など】

大学入学までに、人や社会が抱える課題に対して興味関心があり、ボランティア活動や地域活動の経験を有するなど、進んで他者の理解と支援を志向する実践的ボランティアの萌芽を確認することができ、本学科における学修によってその深化が期待できる人。

<学力の3要素>

【全ての入試】

- ・本学科で学修するために、事前に必要となる知識・技能を、中等教育終了までの学びにおいて身につけている人。
- ・本学科で学修するために、事前に必要となる思考力・判断力・表現力を、入学までの学びや活動によって身につけている人。

【総合型選抜、学校推薦型選抜など】

心理・福祉全般の社会的諸課題解決のための学修に主体的に取り組む態度、またその態度が確認できる学習歴や活動歴等が確認できる人。特に次に掲げる項目において主体的な態度が確認できる人を求めます。

1. 人に心の面からアプローチする「心理」と環境の面からアプローチする「福祉」に興味関心があり、主体的な学習意欲を持つ人。
2. 心理や福祉の学びにおいて、他者と協同して学びを深める活動に取り組むことができる人。
3. 対人支援の専門性を身につけ、福祉や心理・カウンセリングの現場において実践に携わりたい人。

4. 高等学校において、「言語を用いて思考し、その思考した内容を伝達する表現能力」「客観的に理解するための数理的能力」を高めようと努力する人。
5. 高等学校において、事前課題に取り組むことや自らの興味・関心から発展的な学習を進めることなど、主体的な学びの習慣を高めようと努力する人。
6. ロールプレイやフィールドワークなど他者と協同した学びの機会に積極的に参加する意欲とコミュニケーション力を高めようと努力する人。

食物健康科学科

食物健康科学科は、別に定める教育課程方針に基づく学修を果たし、学位授与方針に掲げる諸能力をもった人を育成するために、本学科への入学者として次の事項を満たす方を選考し、受け入れます。

<建学理念>

【全ての入試】

キリスト教精神における公正性の理解に努め、今後の人生において公正であることに努めようとする意志のある人。

【総合型選抜、学校推薦型選抜など】

大学入学までに、食と健康に係るボランティア活動や、学級活動・部活動における指導的な経験を有するなど、進んで他者に奉仕しようとした実践的ボランティアの素養を確認することができ、本学科における学修によってその深化が期待できる人。

<学力の3要素>

【全ての入試】

- ・本学科で学修するために、事前に必要となる知識・技能を、中等教育終了までの学びにおいて身につけている人。
- ・本学科で学修するために、事前に必要となる思考力・判断力・表現力を、入学までの学びや活動によって身につけている人。

【総合型選抜、学校推薦型選抜など】

人々の健康づくりや食と健康に関わる社会的諸課題解決のための学修に主体的に取り組む態度、またその態度が確認できる学習歴や活動歴等が確認できる人。特に次に掲げる項目において主体的な態度や資質が確認できる人を求めます。

1. 専門基礎科目の学修に必要な理数系の科目を得意とし、原則として「生物基礎」および「化学基礎」を履修していること。
2. 専門分野の学修に必要な「家庭」の科目に関心をもっていること。
3. 教養の基礎となる、「国語」、「英語」について、高校での教育内容を十分修得していること。
4. 専門職に求められる知識・技術を修得するために必要な、高等学校卒業程度の基礎学力、論理的な思考力、判断力、コミュニケーション能力を身につけていること。
5. 食物・健康に対する探究心をもち、食と健康に関わる専門職として社会貢献を果たせるよう努力する人。

看護学部

看護学科

看護学科は、別に定める教育課程方針に基づく学修を果たし、学位授与方針に掲げる諸能力をもった人を育成するために、本学科への入学者として次の事項を満たす方を選考し、受け入れます。

【すべての入試】

<建学理念>

- ・キリスト教精神における公正性の理解に努め、今後の人生において公正であることに努めようとする意志のある人。
- ・大学入学までに、ボランティア活動や生徒会活動、部活動における指導的な経験を有するなど、進んで他者に奉仕しようとした実践的ボランティアの萌芽を確認することができ、本学科によってその深化が期待できる人。
- ・生命を尊び、周囲への気遣いをもちながら様々な人と関わるための努力ができる人。
- ・本学への入学を強く志し、将来、看護職として働きたいという明確な目標を持っている人。

<学力の3要素>

- ・本学科で学修するために、事前に必要となる知識・技術を、中等教育終了までの学びにおいて身につけている人。
- ・本学科で学修するために、事前に必要となる思考力・判断力・表現力を、入学までの学びや活動によって身につけている人。
- ・看護学の重要概念である「人間」「環境」「健康」を理解する基盤として、国語、英語、理科をはじめすべての教科に幅広く関心をもち基礎的な学習ができる人。
- ・主体的に学習する態度を身につけている人。
- ・積極的に学んでいこうとする意欲をもち、生涯にわたって自己研鑽に励んでいける人。

経営学部

経営学科

経営学科は、別に定める教育課程方針に基づく学修を果たし、学位授与方針に掲げる諸能力をもった人を育成するために、本学科への入学者として次の事項を満たす方を選考し、受け入れます。

【全ての入試】

＜建学理念＞

キリスト教精神における公正性の理解に努め、今後の人生において公正であることに努めようとする意志のある人。

1. 大学入学までに、教育や社会貢献に関係するボランティア活動や、学級活動・部活動における指導的な経験を有するなど、進んで他者に奉仕しようとした実践的ボランティアの萌芽を確認することができ、本学科における学修によってその深化が期待できる人。
2. 本学の教育理念を理解し、豊かな教養と人間性を育み、経営学の各々の専門分野での知識の修得や技能を学び、対人能力や問題解決能力を磨く本学部の人材育成方針に理解と関心をもつ人。
3. 経営学の学びにおいて必要となる高等学校修了時まで求められる理解力、思考力、コミュニケーション能力などの基礎能力および現代社会に対する一般常識を身につけている人。

＜学力の3要素＞

- ・本学科で学修するために、事前に必要となる知識・技能を、中等教育終了までの学びにおいて身につけている人。
- ・本学科で学修するために、事前に必要となる思考力・判断力・表現力を、入学までの学びや活動によって身につけている人。
- ・本学科の専門分野を学ぶことに高い意欲を持ち、主体性を持って多様な人々と協働して問題解決に取り組む態度を身につけている人。

未来教養学環

未来教養学環

未来教養学環は、別に定める教育課程方針に基づく学修を果たし、学位授与方針に掲げる諸能力をもった人を育成するために、本学環への入学者として、次の事項を満たす方を選考し、受け入れます。

＜建学理念＞

【全ての入試】

キリスト教精神における公正性の理解に努め、今後の人生において公正であることに努めようとする意志のある人。

【総合型選抜、学校推薦型選抜など】

大学入学までに、様々な分野に関係するボランティア活動や、自分の周りや地域などの諸問題を解決しようとした経験を有するなど、進んで他者や地域のために奉仕しようとした実践的ボランティアの萌芽を確認することができ、本学環における学修によって、その深化が期待できる人。

＜学力の3要素＞

【全ての入試】

- ・本学環で学修するために、事前に必要となる知識・技能を、中等教育終了までの学びにおいて身につけている人。
- ・本学環で学修するために、事前に必要となる思考力・判断力・表現力を、入学までの学びや活動によって身につけている人。

【総合型選抜、学校推薦型選抜など】

未来教養学環では、社会の様々な課題に興味・関心を持ち、その社会的諸課題解決のための学修に、当事者意識を持って主体的に関わろうとする人物を求める。また、ディプロマ・ポリシーに定める教育目標の達成のため、次に掲げる資質・能力を備えた人物を選抜する。

1. 中等教育段階までの幅広い教科・科目に興味・関心をもって学修してきた。
2. 根拠を基に様々な問題に対して筋道を立てて考え、判断し、自らの考えを他人にわかりやすく伝える経験がある。
3. 社会の様々な問題を解決してゆこうとする意欲を有している。
4. 与えられた課題をこなすだけでなく、自らの問題意識に基づき、広く社会と関わろうとする経験を有している。